

3. まとめ

平成 30 年度は、老朽管の点検・調査や清掃など下水道施設の適切な維持管理に努めてきたほか、総合的な浸水対策や温室効果ガス排出量の削減などの地球環境保全にも取り組んでまいりました。事業はおおむね計画通りに進捗しました。

今後、下水道事業は経営資源が減少していく中で、老朽化対策など施設の改築更新費用は増加し、より一層厳しい経営状況になることが見込まれます。そのため、「仙台市下水道事業中期経営計画」に基づき、費用とリスクのバランスを図りながら効率的・効果的な事業運営に努め、市民の皆さまの安全・安心な暮らしを支える役割を果たせるよう取組みを進めてまいります。

〈仙台市ホームページもご覧ください〉

この「お知らせ」で紹介した取組みの他にも取組み実績をとりまとめています。詳細は、仙台市ホームページに掲載している「仙台市下水道事業中期経営計画進捗レポート」をご覧ください。（仙台市ホームページのトップページのサイト内検索から検索できます。）



仙台市煉瓦下水道「杜の都れんが下水洞窟」

明治 33（1900）年に築造され 119 年経った今でも現役のレンガ製の下水管で、平成 22（2010）年に土木学会選奨土木遺産に認定されました。青葉区西公園 C60 広場（SL 広場）そばの地下に埋設されています。毎月実施している見学会は、電話またはホームページによる事前予約制となっております。

令和元年 11 月

編集・発行 仙台市建設局下水道経営部経営企画課
〒980-8671
仙台市青葉区国分町三丁目 7 番 1 号
TEL 022-214-8509

下水道の今をお知らせします

仙台市下水道事業中期経営計画の平成 30 年度における進捗状況

1. 「お知らせ」の目的

下水道は、市民の皆さまが日常の生活で使用した水をきれいにする「汚水処理」と、大雨からの被害を軽減する「雨水排除」の 2 つの役割を持つ重要なライフラインです。

仙台市では、市民の皆さまに安心して下水道をお使いいただけるよう「仙台市下水道事業中期経営計画（平成 28～令和 2 年度）」を策定し、事業を進めています。この計画では、令和 2 年度までに達成すべきサービス水準（目標値）を設定し、その達成に向けて事業を着実に進めるとともに、市民の皆さまに事業の現状や課題に対する理解を深めていただくため、毎年度取組み状況を公表することとしています。

この「お知らせ」では、平成 30 年度の下水道事業の主な取組み実績を皆さまにお知らせします。



下水道には、「汚水処理」と「雨水排除」の 2 つの役割があります。



より良いサービスを提供するため、仙台市下水道事業中期経営計画に基づいて事業に取り組んでいます。

2. 平成 30 年度の主な取組み実績

下水道施設の適正な維持管理

汚水管内で木の根が生長して管が詰まったり、老朽化に伴って管が壊れ、道路陥没を起こすことがあります。清掃や点検を行うなど適正な維持管理を行っています。

H30 年度取組み実績	目標値
汚水管詰まりの回数…439回 (H28~30 平均: 490 回) 現状値 (H26 年度) …628 回	H28~R2 年度平均で 現状値より減少
陥没件数…102 件 (H28~30 平均: 84 件) 現状値 (H26 年度) …89 件	H28~R2 年度平均で 現状値より減少



木の根による詰まり
(木の根除去前)



(木の根除去後)



管の継ぎ目から木の根が入り、汚水管が詰まったので根を除去しました。



下の写真は、管の内側全体に補強材料を取り付ける耐震化工事を行っている様子です。



補強材料

管路の耐震化工事の様子



工事完了後の管内の様子

浸水対策

浸水被害の軽減に向け、10年に1回程度の大雨(10年確率降雨)に対応する雨水排水施設の整備を進めています。

H30 年度取組み実績	目標値
10年確率降雨に対応した雨水排水施設整備率 35.5% (H29: 34.6%) 現状値 (H26 年度) …33.5%	R2 年度で 36.0%

地震対策

地震に強い管路や施設とするため補強工事(耐震化)を進めています。

H30 年度取組み実績	目標値
耐震化率(管路) …39.9% (H29: 38.1%) 現状値 (H26 年度) …33.8%	R2 年度で 40.6%
耐震化率(施設) …33.3% (H29: 31.1%) 現状値 (H26 年度) …6.7%	R2 年度で 71.1%

放流水質の適正維持

浄化センター(下水処理場)では、下水を適切に処理し、水環境の保全を図っています。

H30 年度取組み実績	目標値
放流水質基準超過回数…1 回 (H29: 0 回) 現状値 (H26 年度) …	毎年度 0 回

温室効果ガスの排出抑制

浄化センターやポンプ場では、電力などのエネルギーを大量に消費しますが、省エネルギー機器の導入などによって、温室効果ガス排出量の削減を行っています。

H30 年度取組み実績	目標値
温室効果ガス排出量…50,561 t-CO ₂ /年 (H29: 47,985 t-CO ₂ /年) 現状値 (H26 年度) …55,088 t-CO ₂ /年	R2 年度で 53,435 t-CO ₂ /年

効率的な経営

汚水処理原価(汚水をきれいにする費用)は、浄化センターの維持管理費の増加などにより、H26年度実績より高くなりました。経費削減に取り組みながら、効率的な経営を行ってまいります。

H30 年度取組み実績	目標値
経費回収率…114.8% (H29: 115.5%) 現状値 (H26 年度) …121.3%	毎年度 100%以上
汚水処理原価…130.1 円/m ³ (H28~30 平均: 128.6 円/m ³) 現状値 (H26 年度) …123.8 円/m ³	H28~R2 年度平均で 現状値より減少



南蒲生浄化センターに設置している小水力発電機

温室効果ガスの排出量を削減するため、南蒲生浄化センターでは、太陽光発電や小水力発電を行っています。



お客さま満足の向上

施設の不具合などに関して、お客様からご意見、ご要望をいただいております。お客さまからの声を事業に反映し、満足度の向上を図ってまいります。

H30 年度取組み実績	目標値
苦情件数…2,835 件 (H28~30 平均: 2,952 件) 現状値 (H26 年度) …3,405 件	H28~R2 年度平均で現状値より減少